

## 第 79 回室蘭市行政改革推進委員会 会議録（要旨）

日時：令和 5 年 8 月 22 日（火）10 時～11 時 30 分

場所：室蘭市役所本庁舎 2 階大会議室

出席委員：永井会長、森川副会長、山下委員、三木委員、赤石委員、藤嶺委員、安藤委員、増岡委員

事務局：奈良副市長、佐野総務部長、高橋企画財政部長、福島総務部職員課長、大石企画財政部財政課長、櫻井同財政課長補佐、中島総務部行政マネジメント推進課長、鈴木同行政マネジメント推進課係長、白川同行政マネジメント推進課主任

### 議題

- (1) 室蘭市行政改革プラン 2022（令和 4 年度実績報告書）について
- (2) 公共施設の適正化について

### ●会長及び副会長の選出

○事務局一任の声により会長に永井委員、副会長に森川委員を選出

### ●議事（1）室蘭市行政改革プラン 2022（令和 4 年度実績報告書）について

### ●議事（2）公共施設の適正化について

### ○A 委員

- ・奈良副市長はどういう仕事をなさっているのか。
- ・白熊副市長は港湾担当ということらしいが、奈良副市長の担当は。
- ・副市長にはどれほどの決定権があるのか。

→奈良副市長

- ・事務分掌上、白熊副市長は港湾部と脱炭素、それ以外は私（奈良副市長）
- ・最後の決定権は市長だが、副市長以下各部長、各課長がとりまとめを行い、最終的には市長に上程しながら必要なものについては議会の議決を受ける。

### ○A 委員

- ・行政マネジメント推進課は経営や管理の観点から行政改革に取り組むのか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・昨年ご審議いただいた公共施設や、先ほど報告した行政改革、これらは庁内横断的に、いろいろな課に跨がって大きな方向性を出していかなければならない。
- ・行政マネジメント推進課は主に庁内横断的な課題について、庁内調整を図りながら、

組織としての方向性を決め、推進していく役割を担っている部署になる。

⇒奈良副市長

- ・例えば、ある公園をなくすとか、建物をなくすとか、その課から発議はしない。
- ・文化センターも文化担当が積極的に廃止ということは考えられない。
- ・行政マネジメント課の役割は、全庁的に室蘭の将来を考えた時に、どれだけの施設をどれくらいの割合で残していく、あるいはこれは残念ながら、他市と類似の機能があるからそちらで代替してほしい、などの全体的な、経営の観点で検討して、庁内に知らせて、それらを推進していくこと。

○B 委員

- ・公共施設の適正化について、教育委員会の担当のものは具体的にどれになるのか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・②の給食センター、④-2の文化センター、④-3の市民美術館、⑥の中島スポーツセンター、⑦のだんパラスキー場、あと④-1の文化センター大ホールと⑤の武揚体育館。
- ・違うのは本庁舎と水族館。

○B 委員

- ・教育委員会はスポーツ担当と文化振興で分かれるので、担当者の人は何人かいるだろうと思うが、指定管理者とのコミュニケーションがうまくいっているような感じがしない。
- ・そのあたりは教育委員会にお任せするという事なのか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・去年は、庁内横断的に方向性を決めていくということで、この場を活用させていただいた。
- ・今後は、文化センター大ホールの代替案として、どういったことができるのかであるとか、施設をかなり深掘りしていくような段階になっていくので、施設管理課が指定管理者や利用団体の方などと、きちんと対話して、意見交換しながら進めていくということで想定している。

○B 委員

- ・文化センター大ホールは、文化連盟のほうから廃止反対の署名の話も出ていたので、協議中とあるが、あまりうまくいっていない印象も受けたりしている。その辺り、どのようにするのか。
- ・文化連盟の要望が、新しく建て替えてほしいではなくて、使える限りは使わせてほし

いということだと思う。

- ・コロナもあけて、市民会館も混んできており、文化センターの存在価値もまだあるのかなと思うが、令和8年度末を目途に廃止というところは今のところ変わらないのか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・署名をされているという話は聞いているが、これから提出されると思うので、まだ把握はしていないが、利用者からは長く使わせてほしいといった意見は出てきているかと思う。(8/22時点)
- ・令和8年まで存続させることで、改修費がかかり、非常に多額になるというところで、今回の指定管理期間をもって、ということで方針を出させていただいており、現時点で、その期間を延長することは考えていない。
- ・引き続き、代替策について団体、利用者との協議を進めて参りたい。

○B 委員

- ・代替機能の内容などについては、教育委員会と関係団体との話し合いでやっていく、ということか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・まずは施設所管課が、一番近いところで話をさせていただくことが、一番ふさわしいと思う。

○B 委員

- ・市民会館の改修という話が出たので、やはり音楽関係の方から市民会館は音楽ホールなので中の内装をいじられると機能的にどうなんだろうという話も聞いた。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・その辺も今まさに意見交換している中で、何ができるのか、はたしてそれは望まれているのか、意見交換を始めたところなので、この辺の状況を見ていきたいと思う。

○A 委員

- ・行政改革委員会条例を読むと、この委員会は調査、審議を行うものとする、というふうになっている。
- ・それを受けて、市長は何かをしなければならない、というのは何も書かれていない。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・本委員会は、地方自治法上の附属機関であり、あくまで執行機関である市長からの要請に基づいて審議や調査を行い、ご意見をいただく、といった機関になっている。
- ・ご審議いただいた内容は決定事項ということではなくて、最終的には執行機関である

市長の方で最終判断をするというようなかたちになる。

○A 委員

- ・今までも行革委員だった方にお聞きするが、この行革プランは皆さんの意向がどの程度入っていると感じるか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・補足説明させていただくが、本市の行革の取組は、昭和56年から進められて、最初に第一次行財政健全化方針というものをつくっている
- ・以後は3年なり5年なりおきに行革プランを改定してきている。
- ・その時代に合わせた課題に応じてつくってきており、以前F委員がいらっしゃった時は全く別の行政改革だったので、このプランをご覧になるのは初見ということになるかと思う。

○C 委員

- ・先ほど公共施設適正化で、本庁舎と水族館以外の担当は全部教育委員会ということだったが、看護学校も教育委員会なのか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・看護学校は保健福祉部になる。
- ・昨年（検討対象から）外した理由が、今議論されている、地域の医療再編のあり方に、看護学校の養成機関というところの将来性が関わっていくため
- ・このところの見通しができるまでは、こういったかたちで検討の俎上にあげるのは難しいと考えている。

○C 委員

- ・いままで他の病院との再編とかいろいろな話があって、コロナ渦で止まっていたと思うが、近々の動きとして、協議会を開くといった話はないか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・平成29年に地域医療あり方検討会を経て、平成30年に提言書をいただいた。
- ・平成30年に地域医療連携再編等推進協議会を立ち上げたが、コロナ渦の影響等によって、なかなか検討が進んでいなかった状況にある。
- ・先般、協議会の分科会ということで、各3病院の事務長レベルで構成するワーキンググループを設置して、第2次中間とりまとめの具体化に向けて論点整理や情報連携を行い、協議会の議論につなげるということで取り組んでいると伺っている。

○D 委員

- ・先ほどA委員から、今まで委員がどういう対応をしていたかということだが、この委

員会は諮問を受けて答申をする、というような組織ではない。

- ・ 公共施設の適正化について、2年3年に渡り、いろいろな論議をした。
- ・ その後、直近の議会でも、例えば委員会とか本会議で論議されてきて、我々の意見がだいぶ反映されているなという感覚。
- ・ これについて、こういったことが果たして良かったのかなとか、もしくはこれがもう少し別な方向で話した方が良かったのかとか、反省しながら、やはりこれをやると進めている。
- ・ 本庁舎だが非常に老朽化していて、これをどうするのかというのはこれから検討していくという形になるかと思う。
- ・ 建物ができてから71年とか2年とかという年数になり、プロの目から見ると、大地震が来て、東日本大震災のような震度6強とか7近いものにもなると、この建物が倒壊するだろうと。
- ・ 室蘭市の本丸が倒壊したときに、我々地域住民とか市民はどうなるのかというようなことを考えると、夜も眠れないようになってくるのかなと思う。
- ・ 特にこの建物が日本海溝の津波地震があったときに、追直からこの市役所に4～5メートルの津波が来て、それからまた港のほうから大体同じような規模の津波が来ると、挟み撃ちになる。
- ・ そうなってくると、この建物が使えないというようなことになって、話では室蘭西中の方に災害対策本部を移すというようなことも聞いている
- ・ 庁舎は存続する方針にはなっているが、計画から実際に建物を新しく作るとしたら5年、6年、7年かかるんじゃないかと思う。
- ・ そういう意味でも今から少しずつ着手しなければならぬし、もしこの本庁舎をもう10年くらい使いたいというのであれば、早急に耐震化をしなければならないと思う。
- ・ 本庁舎についてはなるべく早めに、新築をするのか、別の施設を使うのか、もしくは広域センタービルをうまく活用するとか、分庁舎とかいろいろな方法、また中島のほうに施設を作るという話も聞いている。そういう庁舎がどういう機能をするのかとか、そういうことを市民に早く広く知ってもらわないといけない。
- ・ 前に取ったアンケートを見るといろいろな意見がある。
- ・ 市民の方にも広く分かってもらう、知ってもらうような方法を講じてもらえれば、ありがたいと思う。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・ 本庁舎については昨年の12月議会で、新築する場合と、既存ストックとして、使われなくなる学校施設を活用する場合の事業費比較等をお示ししたところ。
- ・ このうち、使われなくなる学校施設を活用するというのは、この後、学校の在り方検討を進めていくわけだが、子ども達にとってよりよい教育環境が優先されるべきであり、その検討には一定程度の期間を要すると思う。

・ただ一方、耐震化もなく、津波浸水区域ということもあり、この市長任期4年間については本庁舎のほか、蘭東地区における新支所整備も含めた、庁舎全体の整備計画をお示しできるように進めていきたい。

#### ○E 委員

- ・市長の任期が新しくなり、副市長が交代されて新しい体制ができたのかなと思う。
- ・市長公約が変わったように思うが、それを受けてこの会議の進める方向性というのの変更があるのか確認したい
- ・令和8年度までこの計画が粛々と進んでいった場合としても、環境が変わってきているので、本当にそれで大丈夫なのかというのは思うところもある。
- ・改革といって身を切るような改革は進めるけど、例えば人件費を削るとか言っても限界があるし、今の世の中そんなことばかりしていて大丈夫なのかとも思う。
- ・人件費の中にはパートさんのことが入っていないので、そういうのも入れないと、人件費の削減の判断というのができないと思う。

#### ⇒奈良副市長

- ・今のところ、急に改訂するという予定はないが、財政上の要素でいくつか変わり得るものがある
- ・会計年度任用職員に、早ければ次年度から、いわゆる民間でいうところのボーナスを支給する、という通達が国から来ている。
- ・この分は全く財政見直し上、見込んでいない。
- ・公務員も2年に1回ずつ、1年ずつ65歳まで定年が延長する。
- ・退職者は出ないが、人件費の塊が減らないという要素がある。
- ・いわゆる義務的経費と言われる人件費に大きな変動要素があるということは、行革プランの基になっている、財政の見直しをもう1回作り直さないといけない。
- ・その見直しに基づいて、新たな行革プランを立てる必要があるならば、委員会にもう1回諮らなければならない。

#### ⇒大石財政課長

- ・会計年度任用職員と定年延長の影響を見込んだうえで作り直したいと思っており、今のところは令和6年度中に見直しの作業を行いたいと思う。

#### ⇒奈良副市長

- ・来年中に見直しの作業を行うので、その状況において財政状況がどういうふうになっていくのか、重要な要素かなと思う。
- ・もちろん国が会計年度任用職員にボーナス出せというわけだから、理屈上は、いわゆる地方交付税で措置されるはずだが、蓋を開けてみないとわからない。

- ・人件費のことで言うと、ここ数年で見ると、35市の中でも千人当たり職員数を少ない方から数えてトップ5。
- ・平均年齢も、若い方のトップ5に入っている。
- ・道内の35市の中でも、割と平均年齢も若くて、千人当たり職員数が低いということは、1人当たりで抱えている仕事が多いということ。
- ・こういう状況なので、これ以上人件費を痛めつけるということとはできない状況になっている。
- ・先般、職員採用試験を行い、5人採ったが、2人にキャンセルされた。
- ・もう欠員が出てたりとか、市役所が募集しても来なくなっている。
- ・人材確保とか職員提案のやり方も指示をして抜本的にやっているが、今の若い方は、自分がスキルアップするための支援とか、目に見えて変わるような仕組み作りを組織として見せなければ、この組織にいても無駄なんだと辞めてしまう。
- ・民間も、どこに行っても人手不足で何とかならないかという状況。
- ・札幌圏から遠い地方の役所というのは、みんな同じような傾向にあると聞いている。
- ・人材に投資していかなければ、組織として成り立っていかなくなっている時代が来ているというふうに認識している。

#### ○E 委員

- ・電気代があがったりとか、役所の計画が回らなくなるのではないかと。

#### ⇒奈良副市長

- ・電気代の去年の影響額でいくと、4億円くらい増えている。
- ・切り替えた新電力が辞めたり、破綻したり。
- ・一般会計はなんとか行革で乗り切っているが、下水道会計はポンプを回すのが仕事なので、電気代の高騰が経営を圧迫している。
- ・せっかく赤字を解消したのに急にまた増えだしてきて、電気もガスも価格転嫁してるのに、役所だけは価格転嫁していない。

#### ○E 委員

- ・この行革をこのまま粛々と守ることが、役所を悪くするんだったら、早く変えたほうがいい。

#### ⇒奈良副市長

- ・来年に見通しを、早急に試算をして、それに基づいて全面改訂とか、加えるものがあるればいいのかとか、その辺またご審議いただくことになるのかなとか、そういう印象は持っている。

#### ○E 委員

- ・定年延長とかパートのボーナスの話も出たが、働き方も週三日休めるようになったりとか、大転換の時かもしれない。
- ・今年、一生懸命プランを練って、来年度新たにスタートしないといけないことがたくさんあると思う。
- ・新しいスタッフに代わったので、どういうふうに舵を切られるのかというのは非常に興味があり、また変更があったら逐次教えていただきたい。
- ・さっき病院の話が出たが、財政に関わることは、結果内容を逐次この会議に入れていただきたいと思っている。
- ・進捗状況を見ながら、財政が本当に今、舵取りが難しいというか、皆さんの英知を集めて進めていかれたらいいんじゃないかと思う。

#### ○A 委員

- ・職員数の話が出たが、会計年度任用職員も数に入っているのか。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・この資料の数字には入れていない。
- ・職員数の見通しを考えるときに、一つの参考として、他の自治体が規模的にどうなのかとか、全国的にどうなのかといったところの比較をする場合がある。
- ・その時に、会計年度任用職員は自治体によって運用が異なったりする。
- ・例えば勤務時間が短い運用をしていたりだとか、働き方が違っていたりするので、なかなか自治体間で比較しづらいというところがある。
- ・兼ねてより職員数の見通しと言うと、一般職で資料を作成し、報告させていただいたりしているところ。
- ・このプランを策定したときに、おおよそ将来的にこういったところで職員数が推移していくだろうという、見通しを立てる都合があり、こういう表現にしている。

#### ○A 委員

- ・市民は年金は減るわ、給料は減るわということで、大型店あるいは格安店のところへ買い物に行くので、町場の商店がやっていけなくなった。
- ・そういう非正規雇用の安価な給料、ワーキングプアとか200万未満とかいうような状況をなくしてほしい。そうでなければ町場の商店はほとんど潰れるようになる。
- ・室蘭市の人口、最高が18万4千人か5千人かだったのが昭和40年ぐらいだったと思うが、何かの市の資料を見ると、最高の年は人口は16万某だというのがある。
- ・市の担当者に聞いたら、市の統計は、国勢調査の数字を出しているんだというが、そこをちょっと今分かるなら答えていただきたい。

⇒佐野総務部長

- ・16万人のピークの人口数というのは、国勢調査の結果ということ。

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・18万人というのは住民基本台帳の人口。</li></ul> |
|--|

#### ○C 委員

- ・この3年間くらいやっていて、行革とかやっていることが、だいぶ市民にも少し認知されてきているのかなと思う。
- ・市民が知らない中で進んでいて、市民が知ったときにはもうすでに決まっていて、何も市民が答えられるようになかったというのがあるので、今後もその辺は、できるだけ早く市民にお伝えしてほしい。
- ・ホームページの更新とかされて来年また見やすくなるという話もある。
- ・LINEとかもすごい便利になっているけど、結構知らないとかあるので、SNSとかもうまく使ってほしい。
- ・市民にこの状態を教えていく、というのが我々の任務なのかなと思っているので、頑張っていきたいと思う。

#### ○D 委員

- ・新聞に、職員の提案制度を新たなかたちで進めます、と出ていた。
- ・市民の意識と、職員と、行政の意識が乖離してしまったら、マイナスの要素が多くなると思う。
- ・8ページのNO. 12、業務改善のさらなる推進にこれから取り組みたいという、行政側の職員に対する意気込みかなと考えた。
- ・職員の提案制度と言うか、ものも言えないような職場になったら、いろいろとマイナス面が多くなってくると思う。
- ・課を横断的に改善を出してくださいと、そういうものに対してなるべく速やかに予算を付けてみますよと。そういう方向で市長もやる気をもって取り組みますと。
- ・よく内容を知っている係長クラスが、横断的に取り組む、ということは本当に大事なことだと思う。
- ・我々市民がものすごく期待しているのは、職員が行政サービス、市民サービスをどうするか、商工会議所さんや、町場で活動している皆さん方と一致団結してまちづくりをしていきたいと思います、ということ。
- ・我々町会の範囲でいうと、室蘭市の町内会の活性化ということで、基本方針を商工会議所、宅建協会、それから連合も入って、そういう方針を作って、そこら辺にも市の方の職員も一体となってまちづくりを進めていきたいと思います、というのが文言に入っている。
- ・地域に貢献するにはどうしたらいいか、地域と我々の結びつきはどうしたらいいか、そういうことも含めて提案制度を、こういうことで何かないですかと投げかけるようなものにしてほしい。

- ・民間で言いますとQC活動、クオリティコントロールサークル活動というのを民間で取り入れてやっている。
- ・行政の中でもQCサークル活動的な発想をもって、市役所をよくするのはどうしたらいいんだろうか、市民サービス向上をどうしたらいいんだろうか、そういうことをどんどん言って、それを我々の方に職員が出向いてきて、いろいろなことを説明してくれる。
- ・そういうシステム作りや方向性を提案制度の中でも取り入れてもらえばありがたいなと思っており、期待している。

#### ○F 委員

- ・前回までの行革プランで、建て替えしない方針ということで、だんパラスキー場、文化センター大ホール、武揚体育館がある。
- ・その中で市長公約、市政方針になるが、こういう大きなタイトルはあるが、中身がまだ具体的になっていない。
- ・どうしてもこの先どうなるんだろうかというような疑問なり不安なりというのは、多くの市民が抱えているんじゃないかと思う。
- ・建て替えしない施設に関しては、代替案を、しっかりと市民目線で、市民に分かるような形で理解を進めていくのが大事かと思う。

#### ○A 委員

- ・行革プランのオンライン化が6ページに書かれているが、白鳥台で乗り合いタクシーをオンラインにしたが、高齢者ばかりで活用できないということで、タクシーを利用しづらくなった、というような不安がある。
- ・大幅な財政負担を抑制する、と水族館にあるが、存続する場合でも財政負担を抑制するのか。
- ・財政負担があるのは当然であって、どこでも切っていこう、削っていこうという感覚がおかしいと思う。
- ・今までも市との交渉とか要望とかに対し、市の答えのほとんどは金がないで済ませている。
- ・金がなくても、重要なことであればどうにか前向きで考えるんだというふうな姿勢がなくて、ただ金がないを通り一遍の答えとしているのがおかしいと思う。
- ・公共施設の適正化に、現在の指定期間が終わったらそれを目途に検討を進める、あるいは指定期間が終わったら廃止をすると書いているが、指定管理が足かせになっているのでないか。

#### ○C 委員

- ・去年もそんな議論になったが、指定管理者との契約が10年間となっている中で、行革の都合で一方向的に期間を短縮するのも難しいことから、これを目処にという話であった。
- ・また新たに契約すると5年とか10年スパンになってしまい、建て替えの時期がずれてしまうと、またそれで財政の負担になる、というところの議論で、この指定期間を目処に、となっている。

#### ○A 委員

- ・そもそもそういう考え方自体がおかしいのではないか。
- ・指定管理をするから期間が伸びたりする。
- ・民間活力と言うけども、民間に丸投げして安い給料で雇うというのは良くないと思う。
- ・指定管理が足かせになるのであれば、指定管理制度自体がおかしいのではないかと思う。

#### ○E 委員

- ・ちょっと疑問だが、やっぱり値段がつくというのが基本であって、その値段に対してお金があるかないか、というのがマーケットの原理で、足りない時は買えない。
- ・だからそれを「お金がないという理由を出しているのがおかしい」というのはどうかと思う。

#### ○A 委員

- ・公共施設なんだから利益だとか、管理とかいうことをやってはならない。

#### ○E 委員

- ・例えば人を雇わずに、みんなお金をもらわずにボランティアであればお給料はいらない、ということなら言えるかもしれないが、なかなか専門的なスタッフを雇うとお金が必要になる。
- ・私も学校で教えているが、お給料がなかったらやっぱりできないと思う。
- ・スタッフを雇うとお給料が発生してきてお金が必要になる。
- ・どうにかしろという根性論では解決しない。
- ・ダメなときはやっぱりダメと言えないと、それはスタッフの方が困惑するんじゃないかなと。

#### ○F 委員

- ・施設とか建物を持っていると、当然維持費や、人件費がかかる。
- ・でもやっぱり運営する側は少しでもその経費を削りながら運営したい、というのは多

分経済の原則だと思う。

- ・今まで市は努力もしてきたと思うし、それを民間に、きちっとしたルールに基づいてこういう運営をしてくださいということで、施設管理する業者がきちっとした入札をして、やりますと言うのであれば、それは適正なことだと思う。
- ・引き受ける機関がどういう運営をしていくのか、中身をどうするかというのは、その機関が検討するところ。

#### ○A 委員

- ・効率化あるいは経済化だけではなく公共施設、公共機関、公共事業、というのがそういうことであつたら駄目。

#### ○B 委員

- ・室蘭市内ではたくさん公共施設あるが、人口が減っているから収入が減っている。
- ・ピークの時点では18万人いたが、今7万5千人で、半分以下。
- ・その半分以下になってしまったところで、ピークの時を目標に作った公共施設をどうにかしようということ。
- ・その半分以下のところに合わせていくためには、やっぱり縮小、廃止という議論になっている、というのがこの行政改革の話。
- ・人口に合わせた公共施設が必要だと思う。
- ・市民活動センターは17年前に出来たが、団体さんにとって、職員だったら2年3年で異動してしまつて関係性が作れないが、指定管理であるおかげでスタッフ固定でいろいろ情報を得たりできるという、いいところもある。
- ・必要な公共施設をこれからも続けていくために取捨選択をしなければいけないという立場でここでは議論している。
- ・今までの公共施設を全部残せ、というのはちょっとここの立場ではないんじゃないか、と思う。

#### ○D 委員

- ・制度を取り入れた時も、40年ぐらい前から民間委託をどうするか、指定管理者をどうするか、そういう制度づくりを市民とか議会だとか、いろいろな事情の中で検討し、制度を取り入れてきている。
- ・その制度を取り入れるときに、行政も悩んだし、市民も悩んだ、そういうメリットデメリットいろいろな中で、こういう方向を取るのがやむを得ないだろう、というところもある。
- ・そういう形で市民に勘弁してもらつし、指定管理者制度を作つた時に、行政でできない分野を民間の発想でやってもらつということもあるんじゃないか、柔軟な対応がで

きるんじゃないか、というようなことで、この民間委託とか指定管理者制度とか、システムを作ったもの。

- ・これが、良いとか悪いとかの論議はこれからも大事なこともかもしれないが、一応基本的には、我々市民も議会も良しとして進めているもの。
- ・だから根本的にこれがダメだとかというものにはならなくて、この中で改善することがあるのか、というのはこの制度のこれからの成り立ちでないかなと思う。
- ・もう完全にこの制度がダメなんだったら本当にやめてしまうという改革も必要かもしれないが。
- ・例えば初めて聞いたとか、こういう制度があるから文化センターの廃止が令和8年というような位置づけされてしまうんじゃないか、というその辺も、我々論議したところ。
- ・その辺がやっぱり指定管理者への配慮や、いろいろな面を見て、その年度で区切ったほうがいいんじゃないかということで令和8年という判断になっている。
- ・武揚体育館なんかはちょっと長すぎないか、令和8年でよいのではないかという意見もあったが、指定管理者の職員の雇用など、また違う問題があるから、そこまでは伸ばすという形で進めたという経過もある。

#### ○C 委員

- ・今までこの3年か4年前くらいの話だったら、公共施設のこのようなことが、全然話にもならなかったと思う。
- ・僕がここに入ったきっかけは室蘭市の宮の森の体育館の件だったが、あれについても本当に知らなくて気づいたらもうなってるみたいな話で、それは違うなと思ってここに入ったきっかけでもある。
- ・疑問はどんどんこういう会があるので、ぶつけて、分かるものは早めにいろいろお話いただいて、議論をしっかりとって、いろいろ進めていけばいいんじゃないかと。
- ・僕もPTAとかやっている中で、いろいろな会議もしたが、こういう方針も立てていただいて。
- ・行革としては、多分今までだったらもう廃止します、じゃああとお願いしますって、ほぼ投げやりな状態だと思うんですけども、関係機関でいろいろ協議しているとかってお話があったので、そういう意味ではいいのかな。
- ・今後も、何かあれば早めに教えてくださいというところで、できればこう議論の時間をしっかりとって、その上で一番いい方法をこういう委員会でもしていければなとは思っている。

#### ○A 委員

- ・行政改革というか、施設を削る、無くする、廃止する、少なくする。それは致し方な

- いことだと思うが、非正規だとか期間採用だとかということで、給料が少なくされて、その人たちの生活の犠牲の上で行政改革みたいにするのであれば、それはよくない。
- ・非正規職員の犠牲の上での行政改革がないようにしていきたい。

#### ○E 委員

- ・給料が安いというのは決めつけだと思う。
- ・指定管理者にして、既存の外郭団体が切られたかということ、そういう経緯もないので、別に荒々しいことをしたわけではないと思う。
- ・経営改革プランは出ているが、第三セクターみたいなのが残っていて、そういう形で今まで続けてきたんだろうなと思う。
- ・昔からそんなにドラスティックに変わっているとは思っていない。

#### ○B 委員

- ・職員の方からの提案がしっかり実施になるようにということで、これはすごくいいことだなと思う。
- ・市役所に通っていて、窓口で怒鳴りつけているおじさんが結構いる。
- ・カスタマーハラスメント的な、そういうところの解消みたいなことのほうが、若い職員の人を守るには必要になると思う。
- ・仕事で職員を追い込むようなことがないようにというのはぜひお願いしたいなと思う。
- ・行革とは関係ないかもしれないが、職員が安心して働ける職場作りということをしてほしいと、職員の方も長く働けないし、まず安心であるということをして、しっかりそこはお金かけてやった方がいいんじゃないかと思う。

#### ○E 委員

- ・職場改善というか、メンタルの部分のサポートというのもよろしくお願いします。

#### ○C 委員

- ・(今年の) 職員提案の改善で13項目あって、ここに3つ (WEB 会議室、テレワーク対象業務拡大、軽装の通年実施) が出ているが、それ以外でどんなこと出ていたか教えてほしい。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・レクリエーションの実施
- ・業務改善事例の庁内情報共有
- ・様式集、資料集の改善
- ・庁内電話番号検索の機能向上

- ・決算審査書類の電子化
- ・スキャナー設置
- ・研修動画の配信、資料共有
- ・各課業務内容の紹介
- ・夏季休暇の取得可能期間の拡大
- ・タブレット型 PC 増設
- ・職員から提案があって、すぐにできるものに取り組んだところ。

#### ○F 委員

- ・今までいろいろな議論をされてきて、ここに至っていると思う。
- ・過去の議事録なり経過が閲覧できるようなものがあれば、我々も初めて参加するにあたっては過去のそういった議論も見ながら、ダブらないような発言をしたりということができるので、お願いできればと思う。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- ・後ほど載せているホームページをご案内させていただく。

#### ○G 委員

- ・職員の部分で先ほど副市長が5名採用されて2名が退職（辞退）ということで、当社も同じ状況で、社員が集まらない。
- ・今考えているのは、いかに女性が会社に来て働いていただくか。
- ・それは企業もそうだし、行政も同じかと思うので、女性がいかに働きやすい職場環境にして、戦力として働いていただくかということも考えていくような形になれば、室蘭市もいい職場環境になると考える。

#### ○H 委員

- ・行革委員会に来ることになって、行革の内容は私には全然縁のないというか、新聞で結果を知ってこうなるんだって、今までの生活はそうだったが、なんかもっともっと参加できるんじゃないかということを知った。
- ・それをみんなにも参加できるんですよというか、意見があつたら言ってもいいんですよということを、みんなにももっと普及したいなと思って参加している。
- ・最初の頃は、市政というものを新聞とか広報誌で知る程度だったんですけど、最近はまちの中に市役所の職員さんが出てきてくれて、自分の業務の中で市民に接してくれてるなど、市民の意見を聞いてくれてるなというのは結構感じられる。
- ・そういう機会をきっと作ってるのだと思うが、本当にありがたいと思う。

⇒中島行政マネジメント推進課長

- A 委員からお話のあった水族館の財政負担のところ、こちらの説明不足があったので、補足をさせていただきたい。
- 考え方として、昨年この場で議論させていただいたとおり、水族館の魚類の展示と海獣の展示、それと遊園地、こういったそれぞれの機能にどれだけの経費が入って、その収益に結びついているか、ご利用されている方は特にこういったところの機能を重視されているのか、まずは分析を行いながら、存続のあり方を検討していきたい。